



カバーストーリー

日本／鼠多門と鼠多門橋

金沢城の西側にある「鼠多門」は、石垣の間に設けられた大扉の上に櫓が作られる櫓門形式の城門で、屋根は木型を鉛板で覆う鉛瓦、外壁は白漆喰塗り、腰壁には海鼠壁が用いられています。海鼠壁の目地が黒漆喰で仕上げられていることが他の門には見られない特徴となっています。「鼠多門橋」は、玉泉院丸と金谷出丸を隔てる水堀に架かる城内最大規模の木橋です。「鼠多門」は明治17年に火災により焼失、「鼠多門橋」は明治10年に老朽化のため撤去されましたが、平成26年から実施した埋蔵文化財調査や絵図・文献調査の結果に基づき、鼠多門は史実に沿った木造による復元、鼠多門橋は現代の安全基準を満たす構造としながら鋼材を木材で覆う仕上げで整備することとし、平成30年6月に起工、令和2年7月に完成しました。明治期に失われて以来約140年ぶりに復元整備され、往時の姿が甦りました。

ナガサキアゲハ

「ナガサキアゲハ」の名前は出島の三学者の一人で、鳴滝塾を開いたフィリップ・フランツ・フォン・シーボルトが長崎で最初に採集したことに由来します。アゲハチョウ類の中では羽を広げると10cmを超える日本最大級です。もともとは南方亜熱帯の蝶で、台風などの風に乗って迷い込み（迷蝶）、日本に棲み着きました。ナガサキアゲハの日本列島北上は、地球温暖化に関係している指摘されています。

TOPICS

◆ちょうど50年前の昭和47年10月1日に労働安全衛生法は施行されました。今号は「労働安全衛生法制定50周年」を記念して、元読売新聞記者で長く労働問題を担当されていた労働評論家の久谷 與四郎 様に「新たな社会変化にどう対応するか～安衛法制定50年の成果と課題～」と題してご寄稿いただきましたので、ご一読いただければと思います。なお、本誌6月号にもこれまで50年間の労働安全衛生法の主な改正内容を掲載しておりますので、併せてご覧ください。

◆10月6日と7日に金沢で、第59回全国建設業労働災害防止大会を開催します。新型コロナウイルス感染予防のための各種対策を徹底した上で、現地とオンラインのハイブリッド開催としておりますので是非ご参加ください。

◆10月に入り、全国労働衛生週間本週間も残りわずかとなりましたが、令和3年の月・業種別死亡災害発生状況を見ますと、一年の中でも10月は死亡災害が3番目に多く発生している月になりますので、引き続き気を緩めることなく労働災害防止の取組みをお願いいたします。

目次

	○特集 2 新たな社会変化にどう対応するか ～安衛法制定50年の成果と課題～ 労働評論家 久谷 與四郎
	○わが社の安全 8 絆が生み出すもの 社内女性パトロールチームi-bondsの役割 (株)飯塚工業 総務部長 飯塚 恵子
	○建災防協進会 安全衛生保護具・機器コーナー 18 「安全靴JIS改正の概要」と「性能種類および表記方法」について (株)シモン 禰津 陽彦
	○季節の食 22 ～秋の食材～ (一社)日本健美操協会 顧問 鈴木 照子
	○災害事例に学ぶ 23 ドラッグ・ショベル旋回中、死角にいた誘導者が挟まれる
	○COHSMS認定 24 (株)鹿熊組に新規認定証を交付!! 建設業労働安全衛生マネジメントシステムセンター
	○建災防の活動 26 第161回常任理事会を開催 長崎県支部と長崎工業高等学校が協定締結 担い手育成の第一歩
	○災害統計 32

建災防からのお知らせ

◆令和5年度 建設業の安全衛生に係る発明・研究等の作品を募集!!	7
◆第60回全国建設業労働災害防止大会(広島大会)研究論文募集!!	13
◆令和4年度(10月～3月) 建設業安全衛生教育センター 日程表	16
◆コスモス説明会のご案内	25
◆石綿関係の出版物のご案内／フルハーネス型安全帯関係の出版物等のご案内	27